

ふたたび海を渡る橋。

# BRIDGE

上映会/トークイベント

橋の製作に関わった  
エンジニア、デザイナー、  
メーカー、コントラクター、行政、そして  
長崎の人たちの言葉と風景。  
そこから紡ぎだされる未来とは。

「BRIDGE」は、

出島表門橋の製作過程と設計者の軌跡を辿りながら記録したドキュメンタリー。

2050年出島完全復元を目指し、1951年から始まった出島復元整備事業。2017年11月24日出島表門橋が完成。鎖国時代に日本と西洋を結ぶ唯一の窓口であった出島と長崎のまちが、再びつながった。2017年2月27日午前10時、架橋の日。約130年という歳月を経て、再び新しい橋が海を越えてやってきた。5000人を超える市民が架橋を見守り、出島の歴史に残る日となった。橋の建設が社会にもたらす意味、現代の構造物は文化になり得るのか。

監督 | 岩本健太 音楽 | ENA

日時

平成31年 **1月18日** (金)

開場 | 18:30~ 上映 | 19:00~(65分)  
パネルディスカッション | 20:10~

会場

**紺屋2023 konya-gallery**

〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名1-1-4-2 8 第一松村ビル201+202  
<http://konya2023.travelers-project.info/>

定員

**最大 50名** ¥1500円 (中学生以上税込み)

申込み

<https://www.facebook.com/events/1099318893580482/>

※ 上記Webサイトより参加申し込みをお願いします



渡邊竜一 | 1976年 山梨県生まれ

株式会社ネイ&パートナーズジャパン代表取締役 | 法政大学専任講師  
橋梁を中心とした土木構造物の設計、民間メーカーとのプロダクト  
デザインなど構造(技術)的アイデアを軸に、デザインと構造が融  
合した切り口の提案を行っている。国内でのプロジェクトは、札幌  
路面電車停留所、三角港キャノピー、長崎駅前広場、出島表門橋、  
鉄道駅舎、ペDESTリアンデッキ、製品開発(キャノピー、標識  
柱、ストリートファニチャー)、ジャパンハウスロンドン階段(構  
造設計)など。



ゲスト

星野裕司氏

熊本大学准教授



主催 | ネイ&パートナーズジャパン 後援 | 風景デザイン研究会

2018.12.08